平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月８日

上場会社名　　株式会社ハピネット　　上場取引所　東
コード番号　　7552　　ＵＲＬ　http://www.happinet.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）苗手　一彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役最高財務責任者　　（氏名）浅津　英男　　ＴＥＬ　03-3847-0410

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	36,172	△2.0	604	△21.2	614	△23.7	260	△49.9
25年３月期第１四半期	36,895	△13.1	766	△28.6	804	△29.8	519	△27.2

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　280百万円　（△36.5%）　25年３月期第１四半期　441百万円　（△31.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	11.58	11.56
25年３月期第１四半期	23.18	23.10

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	50,473	23,341	46.2
25年３月期	53,003	23,289	43.9

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　23,326百万円　　25年３月期　23,270百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	11.25	－	11.25	22.50
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		11.25	－	11.25	22.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	80,000	5.0	950	△5.7	1,000	△6.8	500	△29.6	22.22
通期	205,000	16.0	3,400	14.4	3,500	13.6	2,000	△0.6	88.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	24,050,000株	25年３月期	24,050,000株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	1,547,690株	25年３月期	1,593,370株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	22,480,384株	25年３月期１Ｑ	22,402,010株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済成長の促進を図る政策への期待感から株式市場は回復に向かい、景気回復に向けて明るい兆しが見えてまいりました。しかしながら、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ソフト配信やソーシャルゲームの影響によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましても、当第１四半期連結累計期間におきましては、市場全体を牽引するようなリード商材がなかったこと等により苦戦を強いられました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は361億７千２百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は６億４百万円（同21.2%減）、経常利益は６億１千４百万円（同23.7%減）、四半期純利益は２億６千万円（同49.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業は、バンダイのキャラクター商材で「獣電戦隊キョウリュウジャー」が好調に推移しているものの、トレーディングカード等の苦戦により、玩具事業全体では前年同期を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は144億７千３百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は２億２千９百万円（同47.8%減）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、インターネットを利用した配信等の普及により低迷していたパッケージ市場に一部回復の兆しが見られたものの、当社グループにおきましては苦戦を強いられました。しかしながら、利益面に関しましては、利益率の高いオリジナル作品が好調だったことにより、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は100億２千８百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は９千７百万円（同294.7%増）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、市場を牽引するようなヒット作の不足や、ソーシャルゲームの普及の影響等により、パッケージ市場全体が低迷している中、当社グループにおきましても低調に推移いたしました。

この結果、売上高は65億２千１百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は２千２百万円（同69.0%減）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、キッズカードゲーム機の商材において「アイカツ！」、「ドラゴンボールヒーローズ」が好調だったことに加え、玩具自動販売機商材が堅調に推移していることにより、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は51億４千９百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は５億４千７百万円（同9.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当第１四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25億２千９百万円減少し、504億７千３百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の流動資産の減少35億９千５百万円によるものであります。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ25億８千１百万円減少し、271億３千１百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の流動負債の減少25億６千２百万円によるものであります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ５千２百万円増加し、233億４千１百万円となりました。これは主に、四半期純利益計上による利益剰余金の増加２億６千万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少２億５千２百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年７月16日の「トイズユニオン株式会社の株式の取得（子会社化）及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,155	9,281
受取手形及び売掛金	27,234	23,072
たな卸資産	6,529	8,364
その他	4,074	3,678
貸倒引当金	△63	△62
流動資産合計	47,930	44,335
固定資産		
有形固定資産	1,110	1,102
無形固定資産		
のれん	246	185
その他	738	613
無形固定資産合計	985	799
投資その他の資産	2,976	4,237
固定資産合計	5,072	6,138
資産合計	53,003	50,473
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,672	20,730
未払法人税等	678	353
賞与引当金	378	355
その他の引当金	24	25
その他	3,129	2,856
流動負債合計	26,883	24,321
固定負債		
退職給付引当金	1,830	1,850
その他	999	959
固定負債合計	2,829	2,810
負債合計	29,713	27,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	18,607	18,613
自己株式	△1,055	△1,025
株主資本合計	23,078	23,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	212
繰延ヘッジ損益	1	△1
その他の包括利益累計額合計	191	211
新株予約権	17	13
少数株主持分	1	2
純資産合計	23,289	23,341
負債純資産合計	53,003	50,473

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	36,895	36,172
売上原価	31,692	31,151
売上総利益	5,202	5,020
販売費及び一般管理費	4,436	4,416
営業利益	766	604
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	19
負ののれん償却額	7	1
その他	18	14
営業外収益合計	41	35
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	1	－
貸倒引当金繰入額	－	24
その他	0	0
営業外費用合計	3	25
経常利益	804	614
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	－	0
投資有価証券評価損	31	7
減損損失	13	33
役員退職慰労金	－	110
特別損失合計	46	152
税金等調整前四半期純利益	757	464
法人税、住民税及び事業税	292	331
法人税等調整額	△53	△127
法人税等合計	238	203
少数株主損益調整前四半期純利益	519	260
少数株主利益	0	0
四半期純利益	519	260

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	519	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	23
繰延ヘッジ損益	△0	△3
その他の包括利益合計	△77	19
四半期包括利益	441	280
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	441	280
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,790	10,410	6,807	4,887	36,895	－	36,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	14,790	10,410	6,807	4,887	36,895	－	36,895
セグメント利益	440	24	73	501	1,040	△274	766

（注）１．セグメント利益の調整額△274百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△274百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,473	10,028	6,521	5,149	36,172	－	36,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	14,473	10,028	6,521	5,149	36,172	－	36,172
セグメント利益	229	97	22	547	898	△293	604

（注）１．セグメント利益の調整額△293百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

当社は、平成25年７月16日開催の取締役会において、トイズユニオン株式会社の発行済株式の全てを取得することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結いたしました。当該契約に基づき、平成25年７月16日に同社の全株式を取得し、完全子会社といたしました。

１．子会社化（株式取得）の目的

ビデオゲーム商材の中間流通業の大手でありますトイズユニオン株式会社の株式を取得（子会社化）することにより、当社グループの事業拡大及び当社子会社化による高いシナジー効果の発揮を目指し、更なる成長・発展を目指すとともに、経営基盤の拡充を図るためであります。

２．株式取得の相手方の名称

株式会社タカラトミー販売

３．株式取得会社の概要（平成25年３月期）

①商号　　トイズユニオン株式会社
②所在地　　東京都台東区蔵前三丁目12番８号
③代表者　　代表取締役　服部　達彦
④事業内容　ビデオゲーム商材の販売
⑤資本金　　290百万円
⑥純資産　　2,171百万円
⑦総資産　　5,847百万円

４．株式取得の時期

平成25年７月16日

５．取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

①取得する株式の数　11,200株
②取得価額　　1,850百万円
③取得後の持分比率　100％

６．支払資金の調達方法

自己資金